

(1) 研究会

金融研究研修センターでは、研究官等の研究活動の一助とすることなどを目的に研究会を開催しております。本年度開催した研究会は、「金融専門人材に関する研究会」、「国際化に伴うリスクのマネジメントに関する研究会」、「今後の証券市場の在り方に関する研究会」の3つです。

各研究会の概要は以下の通りです。

金融専門人材に関する研究会

我が国金融・資本市場の競争力強化を実現するためには、市場の発展を担う人材の確保・育成が急務となっています。また、市場参加者においても当局においても共通のコンプライアンス感覚を有する人材が確保されることは、より良い規制環境（ベター・レギュレーション）の実現に資するものと考えられます。

こうした観点から、我が国金融システムを担う専門人材に必要とされる知識及び資質についての幅広い検討を行うため、研究会を開催しているものです。

本研究会は平成19年11月から開催しており、本年度は6月と11月に開催いたしました。

国際化に伴うリスクのマネジメントに関する研究会

本研究会は、平成20年12月から開催し、月1回程度のペースで開催しています。

近年において、アジア地域の発展は目覚しく、そこに蓄積された資金は新たな投資先として欧米の金融市場に向かっています。他方、アジア域内にはインフラ整備等の旺盛な資金需要があり、その資金調達先としても欧米の金融市場に向かっています。アジア地域の発展において、生産拠点としての供給網の整備に果たしてきた日系企業の功績を考えれば、このようなアジア域内にある資金の需給ギャップを解消する上で、日本の果たすべき役割は少なくないものと思われます。

そこで、本研究会では、アジア地域への企業の海外進出に伴う会計・監査・税制等の諸問題を検討するとともに、我が国の市場を通じたアジア諸国の企業への投資の活性化を図るにあたって生じる諸リスクをどのようにマネジメントしていくかについても検討することとしています。

今後の証券市場の在り方に関する研究会

本研究会は、平成 21 年 2 月から開催し、今後、月 1 回程度のペースで開催することとしています。

我が国の経済の持続的な成長を確保するためには、証券市場の競争力強化は引き続き重要な課題です。今回の金融危機と市場の混乱を受けて、金融・資本市場に関する規制の再構築に向けて国際的な議論が進められていますが、証券市場の今後の在り方を考える際にも、今回の金融危機への反省を踏まえ、見直すべきことはないか、引き続き進めていくべきことは何か、といった観点から、幅広く検討することとしています。

(注) 各研究会の詳細については、金融研究研修センターのホームページを御覧ください。

<http://www.fsa.go.jp/frtc/index.html>

(2) 国際コンファレンス

金融庁金融研究研修センターでは、金融を巡る実践的なテーマについて産学官の国際コンファレンスを毎年開催しております。本年度は、平成 21 年 2 月 10 日（火）に、「決済システムの強化を考えるーアジアにおける決済の円滑化と資金循環の活発化ー」をテーマとした第 5 回国際コンファレンスを、アジア開発銀行研究所（A D B I）、慶應義塾大学（市場の質）グローバル C O E プログラムとの共催により開催し、国内外の研究者、政府関係者、金融機関、在京各国大使館関係者など、約 220 名の参加がありました。

第 5 回国際コンファレンスの発表資料は、金融研究研修センターのホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.fsa.go.jp/frtc/kenkyu/event.html>

本国際コンファレンスのプログラム及び概要は以下の通りです。